

お父さんへ

ラジオネーム：あなたの娘

今年は、桜が早く咲きました。

お父さんが桜を見る前にそちらの世界へ行って、あっという間に2年。三回忌を済ませたばかりだけど、なんとなく、お父さんに手紙を書きたくなって、いまペンをとっています。

持病を抱えていたから、本当に、本当に注意して感染予防をしていたのに、ウィルスの力は強いんだね・・・。

お父さんの最期に立ち会えず、顔も見られず、あっという間に小さくなって家に帰ってきても、悲しかったりゆらも、何とも言えない虚無感ばかりが募っていました。

ある意味、他の病気で闘病するよりも「運が悪かった」と考えるしかないのかもしれない。お父さんがいなくなって淋しいのは間違いないけど・・・。

私が子育てしながら、ふと感じるのは、私が子供の時にお父さんやお母さんと過ごした昔のロタと「今」とが重なった時。

私もわがままなところがあつたと思うけど、きつとお父さんたちも苦勞して、悩みながら子育てしてきたんだらうね。

娘の子育てをしているじ、そうやって重なる部分がいっぱいあるじつじ、今さらながら気づかされました。

人生の先輩でもあるお父さんの話をもっと聞いていればよかったなあじ、今は少し後悔もあります。

今年、新1年生になった娘は、元気に小学校に通い始めました。

お父さんも「おじいちゃん」として、娘と、もっと一緒に遊びたかつたかもしれないけど、その分は「おばあちゃん」にいっぱい遊んでもらったり、いろんな経験をさせたりしたいと思います。

私が小学生の頃、お父さんといった夏のキャンプは、とてもいい思い出です。娘とパパと、おばあちゃんとも一緒に夏のキャンプに行くのを目標として、子育てを頑張ります。

お父さんも、そちらからみんなを見守ってほしいな。

リクエスト曲

＜ 春の歌 / スプリング ＞